



ぽけっとだより

2006年4月号

よろしくお願いします



4月より新しい(?)メンバーで活動をしていくこととなり、期待と不安で胸がドッキドキ!です。はなまるくらぶでも、初めは失敗するかもしれませんが、どうぞお母さん方の温かい心で受け止め見守って頂けたらと願っています。オープンルームも時間が短くなりましたが、いつでもお待ちしておりますので、ぜひ遊びに来てくださいね!たくさんおしゃべりしましょう!待ってま〜す!!

新メンバーの自己紹介

- ・引き続きここ支援センターで頑張ります!よろしくお願いします。 森宗裕美子
- ・3月までは一時保育室にいました。たくさんのかたとお話しできるのを楽しみにしています。よろしくお願いします。 木村和子



乳幼児への話しかけ 一言葉の発達

赤ちゃんは産まれた時には言葉を話しませんし、理解できません。それなのに普通お母さんは赤ちゃんを抱いたり、おむつを替えたりする時、名前を呼んであれこれ話しかけます。自然にそうなるのでしようが、実はこれがとっても大切なことなのです。どうせ言葉を理解しないのだからと、いつも黙って赤ちゃんの世話をしていると1歳を過ぎてそろそろ片言をしゃべれる年齢になっても何もしゃべらず言葉の発達が遅れてしまうことになってしまうのだとか…。赤ちゃんは話しかけられることによって、声とその意味を白紙の頭脳に刻み込んでいきます。この経験と学習を積み重ねることによって、言葉を徐々に理解していくのです。この経験と学習がない子どもに、「さあ一歳になったから何かお話しして」と言ってもそれは無理な話。

言葉の基礎は三歳までにできあがると言われています。その時期の子どもへの話しかけは、体に栄養が必要なと同じように、言葉の発達に必要なので、たくさん話しかけてあげるといいみたいです。でも幼児期になって言葉もはっきり理解してくると「片付けしよう」「本を読みなさい」と言葉だけで言うことも増えてきて…「耳にタコができる」ほど言葉だけで言うことも言葉は耳のところで止められて、心の底までは届かない、響かないようです。

何も言われなくてもお母さんが読書していると自然に「何読んでるの?」と興味をもち、自分も本を開いてみる…『子どもは親の後ろ姿を見て育つ』ということわざがありますが、この「育つ」は子どもを意識的に「育てる」のではなくて、子どもが自然に「育つ」、その手本を親が日常生活で示しましょうということなのだそうです。いつも子ども達は見て、聞いていますよ。

「ごめんなさいが言えますか」より



5月の活動予定

○リサイクルで手作りおもちゃ○

～トイレボード～

5月12日(金)

☆持参物☆ 布



○はなまるの予定○

10日(水)	16日(火)
11日(木)	17日(水)

完全予約制15組

10:30~11:30 支援センター

○めりーくらぶ

(乳児さん・妊婦さん) ○

～みなさんで楽しいお話をしましょう～

5月18日(木) 支援センター

13:30~15:00 *予約はいりません

○はなまる準備デー○

一緒に準備物を作りませんか?

5月30日(火)・31日(水)

10:00~12:00 支援センター

○チューリップくらぶ

(1歳児~2歳児未満) ○

5月23日(火) 支援センター

10:00~12:00 支援センター

完全予約制 15組



○おひらせ○

☆今年度より開館時間が
9:00~15:00となります。
☆都合により7日(金)は
休館日とします。